

BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド

愛称：ブラジルの奇跡 追加型投信/海外/株式

足下の運用状況と今後の見通しについて

平素は「BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、足下で中国景気の不透明感や原油価格の下落を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、世界的に株式市場が大きく調整しています。当ファンドにつきましても基準価額が大きく下落しております。

そこで、足下の運用状況と今後の見通しについてご報告させていただきます。

■当ファンドの足下の運用状況について

当ファンドの9月末の基準価額は5,524円となりました。3月末対比では1,989円下落し、騰落率は-26.5%となりました。5月中旬までは、米国の利上げ観測が後退したことに加え、ルセフ大統領が財政支出の抑制を推し進める姿勢を明確にしたこと、汚職問題で決算発表が遅れていたブラジル石油公社(ペトロbras)が市場予想を上回る決算を発表したことなどから、株価は堅調に推移しました。その後は、原油など商品市況の下落を受けて貿易収支の赤字幅が拡大したこと、景気低迷が継続する中でインフレ抑制のため中央銀行が6月と7月に利上げ(13.25%→14.25%、0.5%ずつの利上げ)を実施したこと、中国の景気減速などによる資源輸出の減少などを受けて株価は下落しました。

基準価額の推移



ファンド騰落率

2015年9月末基準

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-15.66%	-31.84%	-26.47%	-39.79%	-33.27%	-41.80%

※基準価額は1万口あたりとなっています。基準価額、税引き前分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものです。
※騰落率については、基準価額に税引き前分配金を再投資して計算しています。

■ブラジル株式市場の状況について

ブラジル株式市場は、ルセフ大統領への信任や、インフレ懸念、米欧の金融政策の行方、中国景気減速などに左右される展開となりました。ブラジルの代表的な株価指数であるボベスパ指数は3月末から9月末までで、-11.9%(現地通貨ベース)の下落となりました。

5月初めにかけては、資源価格の持ち直し、中国の景気回復及びブラジル政府の経済対策に対する期待などを背景に上昇しました。しかし、その後は、国内総生産(GDP)成長率がマイナスとなったこと、ブラジルの主要貿易相手国である中国経済の減速懸念が強まったこと、政府への不信感などから大きく値を下げました。

ブラジル株価(ボベスパ指数)の推移

2014年12月末～2015年9月末



出所：ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド

愛称：ブラジルの奇跡 追加型投信/海外/株式

■ブラジル・レアルの状況について

ブラジル・レアルは、3月末時点で1ブラジル・レアル＝37円台前半でしたが、9月末には29円台半ばまで下落しました。

4月は、財政改善期待やブラジル石油公社(ペトロbras)が遅延していた2014年度決算を発表したことなどをを受けて堅調に推移しましたが、その後は40円を挟み動意の薄い展開が続きました。7月以降は、政府の掲げる財政再建策に進捗が見られないことや、大手格付け会社がブラジル国債の信用格下げを相次いで引き下げたこと、世界的な株安を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから大きく下落しました。

ブラジル・レアル(対円)の推移

2014年12月末～2015年9月末



出所：ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

■今後の見通しについて

9月9日、大手格付け会社S&P(スタンダード・アンド・プアーズ)は、ブラジル国債の信用格付けをジャンク等級に引き下げました(BBB→BB+, 見通しはネガティブ)。これを受け、ルセフ政権は、一段の格下げを回避するため、金融取引税の再導入や公務員給与及び社会保障プログラムの削減などを通じて、財政健全化を目指す方針を示しました。しかしながら、連邦議会や産業界からの強い反発などにより同法案の成立は難しいと考えられ、不成立により金融市場がブラジル財政に対して一段と厳しい見方になることが想定されます。ブラジル経済については、2015年第2四半期GDP(前期比)が2四半期連続でマイナスとなるなど、政府や金融当局がインフレ抑制や財政再建を優先している状況下で、景気下支えを意図した政策発動を実施する可能性は極めて低く、自立的な成長局面を迎えるには暫く時間を要する見通しです。加えて、ブラジル石油公社(ペトロbras)を巡る汚職事件問題の発覚を契機に、ルセフ大統領弾劾を求める声が議会の一部で高まっていることも、政情不安に繋がるリスクがあります。

このような中で、ブラジル株式市場がさらに下げ幅を拡大する可能性はあるものの、主要輸出相手先である中国金融当局が景気下支え政策を強化していること、株価のバリュエーションに注目した安値買いの動きが出てきたことなどから、中期的には底堅さを取り戻すと予想します。通貨レアルについては、9月24日に対米ドルで一時4.2478レアルと史上最安値まで下落しましたが、ブラジル中央銀行が米ドル売り/ブラジルレアル買いの為替介入額を増加させるなど通貨安抑制姿勢を強化していることなどを受けて、足元のレアルは下げ止まりつつあります。しかしながら、財政悪化による格下げ懸念、政情不安及びリセッション状況にある景気の弱さを勘案すると、中期的なブラジルレアル安基調は暫く継続する蓋然性が高いと思われます。

ファンドの特色

- 主として、ブラジル株式に投資を行い信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。
- 主として、ブラジルのインフラ・消費に関連する企業の株式の中から銘柄を厳選してポートフォリオを構築します。
- 当ファンドの運用の指図に関する権限は、BNYメロン・グループ※傘下の運用会社であるARXインベスティメントSLTDAに委託します。

投資リスク

当ファンドは、主としてブラジル企業の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。**当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。また、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。**

BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド

愛称：ブラジルの奇跡 追加型投信/海外/株式

ファンドの費用

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。 ※自動継続投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、申込手数料はかかりません。	《当該手数料を対価とする役務の内容》 販売会社が、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。
信託財産留保額	ありません。	

信託財産で間接的に負担いただく費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に年率2.0196%(税抜 1.87%)を乗じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。運用管理費用(信託報酬)の配分は、以下のとおりです。	
合計	年率2.0196%(税抜 1.87%)	《当該運用管理費用を対価とする役務の内容》
(委託会社)	年率0.90%(税抜)	信託財産の運用指図(投資顧問会社による運用指図を含む)、目論見書・運用報告書の作成等
(販売会社)	年率0.90%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	年率0.07%(税抜)	信託財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行、信託財産の計算等
その他費用・手数料	当ファンドの投資顧問会社への投資顧問報酬 委託会社の受取る報酬には、当ファンドにおいて運用の指図権限を委託しているARXインベスティメントスLTDAへの投資顧問報酬が含まれます。その額は、信託財産の純資産総額に、年率0.63%を乗じて得た額とします。 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。 (注)ブラジル国内株式への投資に伴う為替取引については、非居住者に対して金融取引税(平成27年7月末現在 0%)が課せられる場合があります。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、取扱いが変更されることがあります。 ◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。	

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※手数料・費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社: BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社(ファンドの信託財産の運用指図等)
- 投資顧問会社: ARXインベスティメントス(ファンドの運用指図権限の委託を受けての運用指図)
- 受託会社: 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの信託財産の保管・管理業務等)
- 販売会社: (ファンドの受益権の募集・販売の取扱い等)

ご留意事項

■当資料は、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成した金商法第13条第5項に規定する目論見書以外のその他の資料です。■当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。■当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。■当資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。■当ファンドは、主に株式等値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する世界の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなる場合がありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。■当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。■当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

●投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

●設定・運用は



東海東京証券

東海東京証券株式会社
 金融商品取引業者: 東海財務局長(金商)第140号
 加入協会: 日本証券業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



BNY MELLON

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社
 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第406号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会